

地域協議会の意見を踏まえた対応状況

●平成 26 年度第 2 回地域医療支援病院運営委員会・地域協議会（平成 26 年 8 月 21 日）

意見：がん相談支援センターが 2 階に設置してあるが、場所がわかりにくい。また、すぐ対応できる者がいないようなので改善してもらいたい。（利用者より）

対応状況：2 階図書室に設置していたがん相談支援センターを 1 階（医療連携室）に設置し、相談に来られる方を待たせずに、職員がすぐに対応できるよう改善した。

●平成 27 年度第 2 回地域医療支援病院運営委員会・地域協議会（平成 27 年 8 月 20 日）

意見：玄関入口標示について、入口がわかりにくいので出口から進入しようとする場合があり、危険なので改善してもらいたい。（利用者より）

対応状況：入口を間違えないように新たに進入標示板を設置して改善した。

意見：歯科との連携部分が増えてきているようなので、連携強化を図ってほしい。（歯科医師会より）

対応状況：歯科口腔外科の紹介患者数も増加しているので、今後の連携強化はもちろんのこと、在宅医療に関しても体制を充実し、歯科医師会との紹介患者データを収集し、平成 28 年度に歯科医師対象に講演会を開催予定。

●平成 28 年度第 4 回地域医療支援病院運営委員会・地域協議会（平成 29 年 2 月 23 日）

意見：諫早総合病院へ紹介した患者が、どこに逆紹介されているのか調べてもらいたい。紹介元への返書なしが無くなるようにしてもらいたい。（諫早医師会より）

対応状況：平成 28 年 9 月の逆紹介先の医療機関、紹介元医療機関への返書状況を調査。紹介元への逆紹介が 95%、紹介元以外への紹介は 4%。
紹介元以外への紹介の理由としては、「専門的治療のため高度急性期病院を紹介」、「長期療養目的に療養型病院を紹介」、「リハビリのため」等であった。

紹介元以外への紹介の内、紹介元への返書なしが 12 件あった。
医療連携室にて返書管理行っており、1 ヶ月以上返書のないケースについては医療連携室から主治医へ連絡し、返書の記載依頼を行っている。

●平成 29 年度第 2 回地域医療支援病院運営委員会・地域協議会（平成 29 年 8 月 24 日）

意見：消防署において月 1 回の勉強会を開催しており、長崎医療センターの医師に来ていただくなどして実施している。定期的な勉強会に医師を派遣していただいたり、諫早総合病院で開催の勉強会に参加させていただければ勉強になる。
（諫早消防署より）

対応状況：医師の勉強会への派遣の依頼をいただければ対応する。

当院での勉強会開催時には内容によって消防署への呼びかけも行う。

●平成 29 年度第 4 回地域医療支援病院運営委員会・地域協議会（平成 30 年 2 月 22 日）

意見：若い医師の電話対応が気になるので、教育していただきたい。（諫早医師会より）

対応状況：医局へ電話対応の教育、周知徹底を行う。

開業医の先生方からの紹介は断らない。担当医が対応できない場合は院長、副院長で対応する。

●平成 30 年第 2 回地域医療支援病院運営委員会・地域協議会（平成 30 年 8 月 23 日）

意見：在宅療養後方支援病院は非常に心強い制度だが、制度について知らない開業医も多いと思う。案内、周知を広くおこなってもらいたい。（諫早医師会より）

対応状況：連携室だより（2018 年 8 月号）にて在宅療養後方支援病院についての案内、登録実績などを掲載し、発行した。

●平成 30 年度第 4 回地域医療支援病院運営委員会・地域協議会（平成 31 年 2 月 21 日）

意見：諫早総合病院で可能な治療、医療の守備範囲といったような内容の市民向けの講演会があればと思う。（地域の学識経験者より）
対応状況：行政とも相談し、市民公開講座のような形式での開催を今後、検討予定とした。

●令和元年度第 2 回地域医療支援病院運営委員会・地域協議会（令和元年 8 月 22 日）

意見：眼科の常勤医師の大学への引き上げに驚いた。地域の基幹病院として眼科は必要だと思うが、今後はどうなるのか。（利用者より）
対応状況：大学医局人事によるもので、県内の他病院でも引き上げが行われている。住民の声として、大学にも伝え、来年 4 月には常勤医師が戻るよう働きかけを行なっていく。週 3 日は非常勤として診療を行う予定。

●令和元年度第 4 回地域医療支援病院運営委員会・地域協議会（令和 2 年 2 月 20 日）

意見：患者以外でも疾患別の教室に参加したいとの声もあるようだが、病院まで行くのが億劫な方もいる。出前での講座等があれば参加者も増えるのではないか。（諫早市より）

対応状況：対応できないか各部署へ相談している。要望があれば対応する。

意見：ホームページの診療情報提供書のフォームを PDF だけでなく、エクセルやワードのフォームでも提供してもらいたい。（諫早市歯科医師会より）

対応状況：エクセル、ワードでのフォームのホームページ掲載を準備中。

●令和2年度第2回地域医療支援病院運営委員会・地域協議会（令和2年8月20日）

意見：在宅へ移行する患者の家族が県外在住で帰省している場合、コロナ対策として、訪問看護スタッフ等が県外在住者と接触できないためにサービスが介入できないケースがある。極力、県外在住者の家族には患者本人の退院前に帰省から2週間の自宅待機を要請してほしい。（諫早医師会より）

対応状況：該当するケースについては医療連携室スタッフより本人や県外在住者の家族へ要請を行うように徹底した。

●令和4年度第4回地域医療支援病院運営・地域協議会（令和5年2月16日）

意見：患者・開業医・諫早総合病院が密に連携を取れるよう、開業医へ諫早総合病院の機能や情報をもっと周知してほしい。

対応状況：現在発行している広報誌の内容を充実させる。また、開業医訪問等を積極的に行う。

●令和5年度第2回地域医療支援病院運営・地域協議会（令和5年8月17日）

意見：圏域管内で10代女子の梅毒患者が増加している。医師による性教育ができないか考えている。

対応状況：出前講座など、ご依頼いただければ医師の派遣等を検討する。